

Minato
City

2020

みどりの街づくり賞

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園1-5-25 / 電話:03-3578-2330

景観街づくり賞・区民景観セレクション

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園1-5-25 / 電話:03-3578-2204

港区
みどりの街づくり賞
景観街づくり賞
区民景観セレクション

令和2(2020)年度 受賞施設等

目次

港区みどりの街づくり賞 受賞施設	01
住友不動産御成門タワー バウスステージ南青山	
審査会委員総評(港区みどりの街づくり賞)	03
港区景観街づくり賞 受賞施設	04
とらや 赤坂店 カナルフロント芝浦	
港区景観街づくり賞 奨励賞 受賞施設	06
新虎通りCORE パークコート赤坂檜町ザタワー HIKAWA GARDENS AKASAKA 自動車部品会館 高輪さつき保育園	
港区景観街づくり賞 特別賞 受賞団体	10
港区アドプト・プログラム一道路・公園のボランティア活動	
審査会委員総評(港区景観街づくり賞)	11
港区区民景観セレクション 受賞景観	12
愛宕神社参道の石段《グランプリ》 麻布十番商店街にある広場「パティオ十番」《グランプリ》 赤坂氷川神社(氷川坂から) 六本木さくら坂 赤坂三分坂 有栖川宮記念公園の散策路 愛宕隧道と愛宕山 南部坂 高浜運河から望むライトアップされた御植橋 日の出棧橋倉庫群	
審査会委員総評(港区区民景観セレクション)	16

港区みどりの街づくり賞とは

港区では、昭和54年度から建築計画に伴う緑化計画書の提出を義務付け、緑化の指導を行ってきました。緑豊かな都市づくりには、公共の緑とともに、民間施設の緑化が重要な役割を果たしています。

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の緑化施設を表彰し、地域緑化への協力を感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って、平成16年度に創設しました。

対象

原則として、前々年度に完了した建築計画に伴う緑化施設で、港区みどりを守る条例施行規則の緑化基準を満たしているもの

審査・選定基準

学識経験者、都市緑化に造詣の深い区民及び環境リサイクル支援部長で組織する港区みどりの街づくり賞選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

①周辺の景観と調和し、優れたデザインであること / ②維持管理が適切に行われていること / ③自然環境の保護と再生に努めていること / ④建築物と植栽地がバランスよく配置されていること / ⑤既存樹木を活用していること / ⑥あらゆる生きものが、相互に関わり合いながら生きられる生物多様性に配慮した植栽計画となっていること / ⑦在来植物を取り入れていること / ⑧地域社会とのつながりを持ち、地区への貢献度及びみどりの公開性が高いこと / ⑨先進的又は総合的にレベルの高い緑化技術を取り入れ、新しい緑の創出に創意工夫がなされていること

港区景観街づくり賞とは

港区では、平成21年に港区景観条例を施行し、同年に港区景観計画を策定しました。これらの条例・計画に基づき、建築物の建築等の際に区との景観協議を義務付け、助言・指導を行っています。

「景観街づくり賞」は、良好な景観の形成に関して功績のあった民間の施設や活動を表彰することで、皆さんの景観に対する意識の向上を図るとともに魅力ある街づくりを推進するため、平成23年度に創設しました。

港区景観街づくり賞・景観街づくり賞奨励賞

対象

区と景観協議を行った民間施設のうち、前々年度に完了報告書が提出されたもの

審査・選定基準

港区景観審議会委員、港区景観アドバイザー及び街づくり支援部長で組織する港区景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

①周囲からの見え方に配慮があり、周辺の街並みと調和しているもの / ②建築物、植栽等がバランスよく配置されており、憩いと安らぎを創出しているもの / ③地域特性を生かしており、まちの魅力の向上に貢献しているもの / ④地域社会とのつながりを持ち、区民等への貢献が高いもの / ⑤都市景観の創造に先導的な役割を果たしているもの

その他

特に優れていると認める施設を「景観街づくり賞」に、より一層の良好な景観形成を期待する施設を「景観街づくり賞奨励賞」に選定し、各受賞者に記念品を贈呈

港区景観街づくり賞特別賞

港区景観条例による届出対象以外の、良好な景観形成に功績のあった施設や活動に対し、感謝の意を込めて表彰します。

港区区民景観セレクションとは

「区民景観セレクション」は、区民が誇り、愛着を持つ景観を募集・表彰することで、良好な景観の周知・共有を図るため、平成29年度に創設しました。

対象

「区民が誇り、愛着を持つ街並みその他の景観」として区民等により応募されたもの

審査・選定基準

景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

①地域性が感じられるもの / ②波及性があるもの / ③発見性があるもの

その他

グランプリを選び、その応募者に記念品を贈呈

港区みどりの街づくり賞受賞施設

住友不動産御成門タワー

- 事業主：住友不動産株式会社
- 設計者：株式会社日建設計
- 施工者：三井住友建設株式会社
住友林業緑化株式会社（植栽）
株式会社日比谷アメニス（植栽）
- 所在地：芝公園一丁目1番1号
- 施設用途：事務所、集会所
- 敷地面積：3,710.24㎡ ●緑化面積：1,061.25㎡
- 接道部緑化延長：79.2m ●緑化面積率：29%
- 接道部緑化率：64%



選定にあたっての評価コメント

①既存の緑地の存在を軸に、みどりのネットワークが生まれ、対象地をうまく位置づけている。とくに芝公園のみどりと縁づけることで、芝公園の既存のみどりをワガモノとする工夫が込められている。大規模な再開発でありがちな、広々としたオープンスペースではなく、既存木、植栽木で構成された空間が用意され、落ち着いた雰囲気醸し出している。地下鉄の出入口を擁す当地は多くの人々が目にする新たなみどりの拠点となっている。

②本計画の特筆すべき点は、やはり芝公園との連続性・一体性を形成し、日比谷通りの緑の軸を強化した点であろう。それが、俯瞰的なスケールでの概念的操作に終わることなく、周辺の緑地や樹種、市街地などの性質から導かれた、性格の異なる緑地帯の群を形成することで、実現している点である。それによって、また地下鉄出入口やベンチのある休憩所が、緑豊かな公開空地として、ゆたかな公共空間体験を形成している。



港区みどりの街づくり賞受賞施設

バウスステージ南青山

- 所有者：日本土地建物株式会社
- 設計者：株式会社佐藤総合計画
- 施工者：株式会社増岡組
- 所在地：南青山四丁目8番19号
- 施設用途：共同住宅
- 敷地面積：934.98㎡ ●緑化面積：72.26㎡
- 接道部緑化延長：47.42m
- 緑化面積率：8% ●接道部緑化率：77%



選定にあたっての評価コメント

①白いアナベルの花が満開な頃はこの建物の前を行き交う人たちは幸せになるなと思います。アナベルは草のような性質があるためツツジ等の庭木に比べ、ちょっと手間のかかる樹木です。それを多く使い、植栽地の縁に照明を取り込んだ絶妙な高さのコンクリート縁でぐるりと整えたデザインも良い。コロナ禍で散歩をする人が増え、あらためて近所の緑地や景観の良さが見直されていますので、事業者の方々は奮ってこのような素敵な景観をつくってください。

②この作品の設計者が狙いとした3原則、つまり①南青山の街並みに調和する ②都心にいながら自然を感じる ③都心の多様なライフスタイルを支える という課題を見事に表現したさわやかさを感じさせてくれている。例えばセピア色の透かし積みレンガの壁面とそれを取り囲む植栽のみどりととのしっとりとした調和感、そしてそのレンガ積みのおすき間を通り抜けた風が建物沿いの枝葉を揺らしながら流れてゆく様は、日本の“和の風土”を醸し出している。



港区みどりの街づくり賞 審査会委員総評



千葉大学名誉教授
赤坂 信

大規模開発と
それに伴う社会的責任

今回は最終的に2点が受賞の対象となった。「みどりの街づくり」というだけあって、敷地内だけではなく、周辺景観との調和、地区への貢献度・みどりの公開性も審査の対象となる。最終審査に残ったものは3階から30階以上まで、建物の規模、用途はさまざま。規模の小さなものでも地区への貢献度が高ければ評価される。では、大規模な再開発における場合はどうか。規模が大きければ大きいほど社会的影響が大きいことは明らかだ。人の流れ、また車の流れさえ大きく変える場合がある。それだけ社会的責任が大きい。たとえ建物の「規模が大きい」「眺望がいい」を誇ることができても、それがどのような社会的貢献になるのか。その受益者が、マンションの住民のみ、会社役員のみでは、社会貢献とはならない。影響が大きいほど、そのビルのそばを通る人や住む人への配慮、サービスが求められる時代だ。これが双方の交流に至れば、新しい街づくりに展開する可能性となるだろう。



公益社団法人
観音崎自然博物館 前理事長
技術士(都市計画)
高橋 雅雄

“前人栽樹 後人涼”を夢見て

みどりのまちづくりへの市民の関心は確実に高くなっていく。特に高層化、巨大化する建物周辺の緑化での質的、量的の両面でそれが感じられる。しかし区内で100年以上を経たクロマツの巨樹が、台風によって根元から倒れる事例を目の当たりにすると、新たに植えた大型樹木が、台風時のビル風により倒れ、道路機能への障害や人的被害につながるものが危惧される。従って、植栽地盤の土壌に始まって普段の剪定整枝、場合によっては建築本体との連結など、樹木に対する日頃の細心な手当ての必要性を痛感する。比較的小規模建築で軒下、窓辺、室内で鉢植植物を見かけるが、一般的に植物の生育環境としては劣悪な所が多く、植物の種類の選定に十分な検討を願いたい。話は変わるが、区内には研究所、旧宅、学校等比較的広大な施設が多く、植栽空間が残されている事例を見る。そこへの緑化推進のための要請をきめ細かく進める制度の創設を望んでいる。



港区景観審議会委員
日本大学短期大学部
建築・生活デザイン学科 准教授
有限会社GAヤマザキ 取締役

山崎 誠子
港区の多様性

私は港区の環境審議会の委員でもあります。その委員会では、2020年9月現在、港区が目指す環境像について活発な審議を行っています。その中で語られる港区の重要キーワードが、多様性、国際性、歴史、自然です。港区というとバリバリの都心というイメージがある人が多いと思いますが、武蔵野台地の末端に位置し、海にも接することから地形も変化に富み、白金台には自然豊かな国立科学博物館附属自然教育園もあることで貴重な自然と人工的な都会が混在するまさに多様な環境の区なのです。今回の候補作品は赤坂、南青山、元麻布、港南、浜松町、芝公園と港区全般に広がっていて、それぞれの地形や、周辺の建物用途や街路、空間、景色をうまく取り入れたものばかりでした。受賞作品は、その中でもその建物の利用者だけでなく、その周辺を行き交う人々にも快適な空間をより提供できていることが受賞につながったと思います。



港区景観アドバイザー
SUGAWARADAIKU建築事務所代表取締役
法政大学・工学院大学非常勤講師
菅原 大輔

みどりの街づくり賞によせて

本年の審査では、評価軸の設定が非常に困難であった。受賞施設は、結果として比較的規模が大きなものとなっているが、審査時に意識したことは、むしろ「規模」の大小ではなく、みどりにこめた「思想」や「技術」の質に対する評価だった。現地審査で訪れた施設では、非常に高いレベルで多種多様な「みどり」が実現されていた。それは、環境問題含め、都市のみどりの役割や価値が広く社会に認知され、そのデザイン思想や実現する技術が高いレベルで普及していることの表れでもある。

一方で、賞の名前が示す通り、「みどり」で「街づくり」に対する成果を評価する本賞において、周辺環境や歴史的な文脈を丁寧に分析・評価し、問題解決や新しい価値につなげること、実際に体感できる公共空間として、まちを生き活きとさせることが重要である。それを実現していたのが受賞した2施設である。質の高いみどりがさらに普及し、評価軸の更新を求める、そんな港区みどりの風景に期待を持った。

港区景観街づくり賞受賞施設



とらや 赤坂店

- 事業主：株式会社虎屋
- 設計者：株式会社内藤廣建築設計事務所
- 施工者：鹿島建設株式会社
- 所在地：赤坂四丁目9番22号
- 施設用途：店舗、喫茶、ギャラリー、菓子製造所等
- 敷地面積：847.31㎡ ●高さ：25.64m
- 景観協議の対象行為：建築物の新築



審査委員コメント

①指定容積を使い切らない建築を選択したオーナーと、その決断に創造的に応じた設計者に敬意を表したい。老舗の印象を損なわずに和菓子店舗のイメージを一新して見事である。その特徴は来客が演者になるような舞台の創出にあらう。交差点に面したフロアでは壁が極力省かれ、店内の様子が外部からガラスのカーテンウォール越しに多層的に透けて見える。床を扇形に展開させたことによって、それがさらに多面的に見えるのである。夜間に照明が点灯された時に顕著だが、低層にこれらが集約されているからこそその効果だと思う。

②角地という立地を活かした、建物の扇形平面形状、曲面のガラスファサード、チタン葺きの円錐状屋根の構成により、地域の街並みを牽引する建物となっている。建物の高さを抑えたことが、建物のデザインの可能性を広げ、建物自体の景観的価値を高めている。交差点に面する大きな曲面のガラスファサードから建物内の様子が外部に表出し、街の賑わいにも貢献している。建物の外装、内装に木が効果的に使われており、建物の繊細なディテールも建物自体をヒューマンなものにしている。





カナルフロント芝浦

- 事業主：積水ハウス株式会社開発事業部
- 設計者：株式会社坂倉建築研究所
- 施工者：株式会社新井組
- 所在地：海岸二丁目2番9号
- 施設用途：共同住宅
- 敷地面積：747.42㎡ ●高さ：42.05m
- 景観協議の対象行為：建築物の新築



審査委員コメント

①高速道路沿いという難しい敷地において、芝浦運河の重箱堀という水辺に面した立地を活かした建物となっている。集合住宅は一般に住戸が水平に並ぶ、単調でつまらないファサードを形成することが殆どであるが、吹抜けやロフトなど垂直方向の付加価値スペースや水辺に張り出したウッドデッキスペースを組み合わせることで、変化のある「暮らしが表出するファサード」という新しい集合住宅の景観を創出している。高速道路側から水辺に抜ける視線や導線の確保も評価できる。

②歴史ある重箱堀正面に建つカナルフロント芝浦は、単層と二層吹抜けを組み合わせた個性的で格好のいい集合住宅。脚元の軽やかな木製デッキと植栽は将来的により積極的に水辺と親しむ可能性を秘める。高速道路沿いからエントランスを通して水辺側に目線が抜けることは、殺風景な高架側に潤いをもたらす、歩行者にやさしい。願わくは重箱堀の景観が整えられ、水辺景観形成特別地区にカナルフロント芝浦のような建物が増えて行くことを期待する。



新虎通りCORE

- 事業主：森ビル株式会社 大林新星和不動産株式会社
- 設計者：株式会社大林組一級建築士事務所
- 施工者：株式会社大林組
- 所在地：新橋四丁目1番1号
- 施設用途：事務所、飲食店、自動車車庫
- 敷地面積：1,523.96㎡ ●高さ：74.7m
- 景観協議の対象行為：建築物の新築



審査委員コメント

①角地建築は、交差する2つの表通りのそれぞれのランドマークになる。これにこの建築は面白く応じている。基本的に立面を低・高層部でまず2分、高層部をフレームでさらに3分し、その分節単位を日比谷通り側と新虎通り側で段違いとした。低層部の仕立て方も2つの通りで変えた。だから、通りによってこの建物はたたずまいが異なる。交差点对角側にも開口部を設けて2面の低層部を区切りながら繋いでいるのも角地らしい工夫だ。低層部の商業店舗による賑わい創出に期待したい。

②白色のボックス状のフレームは通りに独特の印象を与え、ライトアップされる夜は昼間とは違う表情を生み出します。新虎通りと日比谷通りが交差するポイントに出現したこの箱が連なるような外観から、物事にとらわれない現代の多様性と共に新しい街の核（CORE）となるインパクトを感じました。歩道上のオープンカフェとの連携は街に賑わいが作られることを期待しています。緑豊かなルーフトガーデンも魅力的でした。



パークコート赤坂檜町ザタワー

- 事業主：赤坂九丁目北地区市街地再開発組合
- 設計者：(設計) 株式会社日建設計
株式会社日建ハウジングシステム
(デザイン監修) 隈研吾建築都市設計事務所
- 施工者：大成建設株式会社
- 所在地：赤坂九丁目4番1号
- 施設用途：住宅、公益施設、駐車場
- 敷地面積：4,656.24㎡ ●高さ：169.9m
- 景観協議の対象行為：建築物の新築



審査委員コメント

①高層建物を敷地南傾斜地側に寄せて配置し、北側赤坂通り側にまとまった児童遊園と一体となった公共空地を確保していることで、タワーマンションにありがちな周辺への影響を軽減している。地形の高低差を利用したまとまった量の緑空間は、土地の記憶を想起させ、地域景観、環境への貢献大である。敷地周縁を回遊する歩行者空間は、都心では得られない潤いのあるアメニティを提供している。低層階に居住者と近隣住民などが共同して利用出来るアメニティ機能が配置されているとなお良かった。

②従前は木造住宅密集地域で、火災等災害時には消防車も入れず、また急斜面地の崩壊危険と隣り合わせの地域であった。その危険性解消と、地域の地形特性を活かした街づくりを、地権者が再開発組合を形成し立案推進した開発である。隣接する既に完成済の広大な敷地を有する東京ミッドタウンを意識し、あたかもミッドタウン計画と同時に整備されたかの様な街づくりに仕上がっており、周辺一帯に上手に溶け込んだ街づくりの典型と言える。



HIKAWA GARDENS AKASAKA

- 事業主：ペンブローク リアルエステート ジャパン
- 設計者：アーキサイトメビウス株式会社
- 施工者：大成建設株式会社
- 所在地：赤坂六丁目19番19号
- 施設用途：共同住宅(分譲)
- 敷地面積：1,154.47㎡ ●高さ：18.57m
- 景観協議の対象行為：建築物の増築



審査委員コメント

①エントランスや建物の上裏に木調の素材を取り入れた事が良いアクセントとなり、建物外周の植栽と建物外観がさらに良く調和したように思います。また、以前は道路沿いの生垣の緑の面の印象が少し重いと感じましたが、そこに木色のルーバーフェンスが入ることで軽快さが生まれました。新たに設置した屋上緑化は、緑豊かな氷川神社や周囲から見える外観への配慮が伺えます。リノベーション前も素敵な景観でしたがさらに向上したことが嬉しいです。

②この地域周辺は都心のど真ん中にありながら、氷川神社・米大使館宿舎に隣接し、鬱蒼とした緑自然に囲まれた貴重な空間である。既存建物改修にあたり、地域の歴史と文化・緑一杯の空間にいかに関わり込むかということに注力した改修である。外観外構は歩行者目線を意識し、木目調デザインを多用すると共に、足元外構周りは既存の景観を構成した樹木の殆どを活かし、生垣との一体性を考慮しつつ中低木を新植した。地域の一員としてより一層緑豊かな周辺環境形成に貢献している。



自動車部品会館 高輪さつき保育園

- 事業主：フミ・コーポレーション株式会社
- 設計者：株式会社小松設計 / ノハラ
- 施工者：株式会社シー・スペース / 箱根植木株式会社
- 所在地：高輪一丁目16番15号 2階
- 施設用途：保育園（駐車場からの用途変更）
- 敷地面積：882.11㎡ ●高さ：28.80m
- 景観協議の対象行為：外観の変更（模様替）



審査委員コメント

① 保育園入口の門扉やフェンスは木材を効果的に使用し門扉上のパーゴラにブドウの蔓などの植物を這わせ、道路を通行する人の目にも優しい印象を与え景観上の配慮を感じます。園庭にはミカンやブルーベリーなどの果樹や、正月飾りに使用するマンリョウも植えられています。保育園に通う子供たちが園庭の中で自然を通して文化や暮らしなど、様々な刺激や学びを得られ、また景観を意識する気持ちも育まれるのでは？と期待しています。

② 自動車部品会館2階の駐車場が保育園に改築され、敷地端部出入口と園庭を兼ねた緑空間が生まれた。建物側はあえて保育園がありますよ的な外装としていないが、野鳥の巣箱が掛けられた木製の門扉や手づくり樹名板がついた若木たちは、ここに元気な声の幼子が集い走り回る姿を彷彿させる。大通りとい呼吸おく前面道路のおかげで子どもたちと実のなる木やアゲハチョウが育つ空間が確保され、人が暮らすまちに嬉しい景観が登場した。

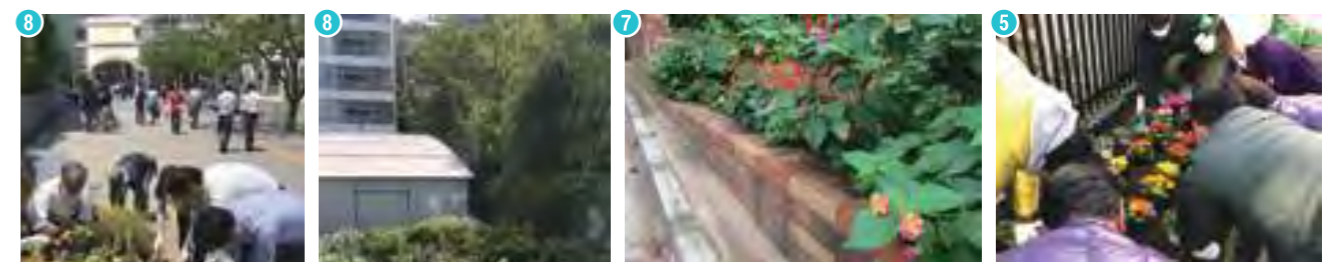


港区景観街づくり賞 特別賞 受賞団体 港区アドプト・プログラム—道路・公園のボランティア活動



港区アドプト・プログラムとは

港区アドプト・プログラムは、地域の方々が道路・公園の維持管理（清掃や花壇管理等）を自主的に行う活動のことです。区民等が相互に協力し、地域の共有財産である道路・公園等の緑化活動や清掃等を行うことにより、道路・公園等への愛着心を深め、利用者のマナー向上と清潔で快適な街づくりの推進を目的として、平成14年度から実施しています。



今年度の受賞団体

今年度の受賞団体は、港区アドプト・プログラムで活動継続5年を経過した団体です。地域の皆さんが主体となった清掃・修景を行うことで、身近な景観づくりに大きく貢献していただいています。区から感謝の意を込めて、特別賞として表彰します。

令和2年度景観街づくり賞特別賞受賞 アドプト登録団体 活動継続5年を経過（令和元年度末時点）した団体一覧

	実施団体	場所種別	活動内容	地区
①	大同信号株式会社	道路	清掃	芝
②	株式会社インフォーマート	道路	清掃	芝
③	エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社	道路	清掃	麻布
④	Azabu Clean Project (ACP)	道路・公園	清掃	麻布
⑤	株式会社トゥールスピリットタバコカンパニー	公園	花壇管理	赤坂
⑥	東京海上日動メディカルサービス株式会社	道路	清掃	赤坂
⑦	ハナミズキの会	公園	清掃・花壇管理	高輪
⑧	リコージャパン株式会社田町事業所	道路・緑地	清掃・花壇管理	芝浦港南
⑨	株式会社グリーバル	緑地	清掃・花壇管理	芝浦港南

アドプト・プログラム問合せ アドプト・プログラムについて 各地区総合支所まちづくり課土木担当

各地区 電話番号	芝地区	麻布地区	赤坂地区
	03-3578-2032	03-5114-8803	03-5413-7015
	高輪地区 03-5421-7664	芝浦港南地区 03-6400-0032	

港区景観街づくり賞 審査会委員総評



港区景観審議会会長
東京工業大学大学院 社会理工学研究所 教授

齋藤 潮

今年度は、景観アドバイザーによる予備選定、選定審査会メンバーによる最終審査を経て、2施設に景観街づくり賞、4施設に奨励賞が授与されることになりました。区の都市景観創造に向けた皆様のご尽力に敬意を表します。今年度の特徴は、規模、建築用途ともに多彩であったことです。それだけに評価の視点が分散し、投票、意見交換、さらに決選投票という白熱した審査会となりました。なお、現地審査会での説明の主眼が建築内部に置かれるなど、街並や都市に、ひいては街を行く人びとに対する施設の景観的な貢献を評価する本会としては、やや戸惑う場面もありました。



港区景観審議会区民委員

竹崎 典夫

とらや赤坂店が、審査員全員の圧倒的な支持を得たのは当然であった。地域固有の歴史文化の特性と共存し、かつ継承発展させ、老舗和菓子屋の意地と存在感を具現化し、街周辺の魅力付けに、類を見ない多大な貢献をしている。願わくは、今後各地で開発を行うオーナーに、コーポレートシチズンとしての地域貢献のスタンスを期待したい。

カナルフロント芝浦は、高速道路と運河に挟まれた狭量敷地における1ルームを中心とした住宅開発である。経済要素をクリアしつつ、運河の対岸からの外観ファサードの見え方に創意工夫が見られる。1ルームを中心とした開発でも街の景観に役立てる一例である。



港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰

藤野 珠枝

建物の寿命はメンテナンス次第で人の寿命よりずっと長くなることを私たちは忘れていません。経済効率の名の下に、壊され、建てられ、中には成人年齢にも満たずに姿を変えた建物たちが港区の街をつくってきましたが、そろそろおしまいでしょか。とらや赤坂店が10階建以上の許容容積率を持ちながらあえて4階建てになったのは時代の先を見据えた建主の要望だと伺い、時代が変わって来たことを感じました。100年先にこの建物が、ここの景観が、そしてこの港区がどんな街であってほしいかを考えた建物と景観街づくりにおおいに期待しています。



港区景観審議会副会長
工学院大学名誉教授

倉田 直道

港区は、その立地から大規模な開発が多く、その開発が周辺環境に及ぼす影響は大きい。そのため、マイナスな影響を軽減することは当然で、その規模に見合った景観を含む地域環境への貢献が必然的に求められる。制度上の基準を満たすだけでは十分ではなく、その質が問われなければならないだろう。改めて、プロジェクトの規模の大小やそれに費やしたコストの多寡に関係なく、建物及び外構（ランドスケープ）のデザインの質が景観に及ぼす影響が大きいことを実感した。敷地や周辺環境の読み取り、そのうえでの建物の配置、空地の取り方と設え、地域に開かれた建物接地階の用途や設えを含むデザインの質である。



港区景観アドバイザー
植栽デザイナー

蓮池 ゆう子

港区には水辺、山、街に歴史にと実に様々な景観ポイントがあります。今回受賞したそれぞれの施設は、周辺環境に調和をはかり配慮をしつつも独自の新しい景観をその中に創り出していると感じられました。既存物件のリノベーションも多く見られ、良い所は残しながらも新しい試みや仕掛けが見られ地域の景観もよりよく向かっていくイメージを沢山感じました。過ごしやすく居心地の良い景観の場が多くできることにより、周辺の地域が活気づき、人々が集まり笑顔があふれる。今後も港区の景観が人々の癒しや喜びになるよう願っております。

港区区民景観セレクション グランプリ

愛宕神社参道の石段

テーマ:地形を感じる景観

選定にあたっての評価コメント

大鳥居は島木・笠木が湾曲した明神鳥居。この結界の奥に傾斜約45°石段数八十六といわれる男坂。これが登る者を無心にさせ浄化する。帰路はゆっくり女坂を下る。神社参道とはまことによく出来たシステムだ。この男坂は女坂とともにかつては江戸湾眺望で知られた愛宕山への登攀路でもあった。喧噪を離れて江戸に思いを馳せる、貴重な景観だ。

応募者からの推薦コメント

- 冬を迎え、葉の色づきも変わり始めた愛宕神社。息を切らしながら、名物でもある「出世階段」を最上段まで昇り、後ろを振りかえる。そこには「紅葉と階段の中心に煌く、立派な鳥居がこちらを見ていた。」
- 港区に引越して住んでいたのが、愛宕神社の真裏にあるアパートだった。あれから50年になるが、今も愛宕山の近くに住んでいる。

応募者氏名 長尾 和宜 (区内在住・在勤)

応募者氏名 高野 憲作 (区内在住)



港区区民景観セレクション グランプリ

麻布十番商店街にある 広場「パティオ十番」

テーマ:街かどの景観

選定にあたっての評価コメント

石畳の街路と洒落た商業建築に囲まれた、起伏を活かした階段状の広場は、ヨーロッパの街を思わせる雰囲気を感じ、街の中庭（パティオ）となっている。街のイベントの舞台になり、6本のクスノキが緑陰をつくり、人々の憩いの場にもなっている。麻布十番といえば思い浮かべる、小規模だけれど人々の物語の舞台となる広場である。

応募者からの推薦コメント

- いつもこの場所に来るたびに、まるでヨーロッパの街角に来たような気分になります。広場には、野口雨情の童謡「赤い靴」のモデルになった岩崎きみちゃんの像があります。きみちゃんは、米国人宣教師の養女になったあと、不幸にも結核になり、麻布にある孤児院で9才で亡くなったそうです。目を閉じていると、赤い靴のきみちゃんが踊りだして、楽しそうに遊んでいる姿が浮かびます・・・

応募者氏名 芦野 武徳 (区内在勤)



港区区民景観セレクション

赤坂氷川神社 (氷川坂から)

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

氷川坂から社殿に向かう階段下から見上げると、豊かに育った大木の緑と共に神社の大きな鳥居が視界に入ります。緑の間からは気持ちの良い空の光が差し込み、起伏にとんだ地形が見せてくれる景色に喜びを感じます。

応募者からの推薦コメント

- 氷川坂の閑静な住宅街から氷川神社に入ると、大変静寂で幻想的な雰囲気になります。ここが都心だとは思えないような風情あるアプローチから丘に上がる階段を眺めると、港区の地形には高低差があるのだと改めて気付かされます。

応募者氏名 長岡 吾朗 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

有栖川宮記念公園の散策路

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

旧宮家寄贈の有栖川宮記念公園は、都立中央図書館を有する7ヘクタール弱の広さがあり、麻布台地の地形そのまま。大木が繁り、大きく傾斜した地形を溪流が流れて池に注ぐ。森の中の丸太造りの階段・小径・石造りの橋等が、趣ある風景を彩り、港区の起伏ある形状を最も象徴した景観を形成する散策路である。

応募者からの推薦コメント

孫を自転車に乗せてよく通った有栖川公園の散歩道です。橋を渡り、階段を登って、起伏のあるこの公園は孫も私も大好きなところですよ。

応募者氏名 箕輪 孝一 (区内在住)



港区区民景観セレクション

六本木さくら坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

六本木ヒルズのメインストリートであるけやき坂通りに並行した、奥まった緩やかな傾斜の坂道。事務所、ホテル、ブランドショップが両サイドに連なる商業色の強い通りと一線を画した、住宅や公園脇の散歩道景観である。桜並木ゆえ満開時は既に名所であるが、春以外でも、緑一杯のアーチを潜り抜ける散策もお勧め。

応募者からの推薦コメント

- けやき坂のイルミネーションを見たときもすごく感動したのですが、春になり、けやき坂の横にこんなにもきれいな場所があるのかと、とても印象に残っています。

応募者氏名 加藤 あゆみ (区内在住)

- 六本木ヒルズの枝道ですが、静かに桜を鑑賞できる絶景ポイント。坂を下っていく車が、桜のトンネルを抜けていくようです。(匿名)

港区区民景観セレクション

愛宕隧道と愛宕山

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

標高約26mの愛宕山は23区内最高峰の天然の山。周辺を高層ビルに囲まれつつも緑いっぱい山は溢れる生命力で季節を告げる。その緑に惹かれて歩きながら、ぽっかりと開いた愛宕隧道を見つけた人は「えっ」と足を止め「こんな都会に本物のトンネル?」。隧道と重なる桜、新緑、紅葉の景色。愛宕山と愛宕隧道は港区民の自慢!

応募者からの推薦コメント

次々と建設されるビルの間に残された、天然の山です。東京23区内最高峰の天然の山は緑が豊富です。

応募者氏名 和賀 由美 (区内在勤)



港区区民景観セレクション

赤坂三分坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

三分はさんぷんと読ませるようで、荷車押しの割増賃金を指すと言われる急坂である。くの字形に折れ曲がっているのが特徴で、これに接しているTBSの敷地は近世には広島藩松平安藝守中屋敷の一部だった。近世以来の報土寺の築地塀が古色をとどめる名坂だ。

応募者からの推薦コメント

- 江戸の雰囲気と地形を今に伝えている。
- 江戸時代から続く報土寺の築地塀の白の美しさと近衛歩兵第三連隊の兵隊さんを泣かせた急な三分坂が対照的。

応募者氏名 古川 久江 (区内在住)

- 勾配が急なため、坂を通る時、車賃を銀三分増しとしたことから名付けられたと言ひ、空襲にも焼け残った報土寺の練塀が美しいです。

港区区民景観セレクション

南部坂

テーマ:地形を感じる景観



選定にあたっての評価コメント

坂上からドイツ大使館の塀越しに見える景色は天候や季節によってさまざまな表情を見せてくれ、有栖川宮記念公園の四季の移ろいも楽しめます。険しい坂を歩きながらも一息ついて周囲の景色を楽しめる魅力のある視点場です。

応募者からの推薦コメント

- かなりの急坂である。公園側の生い茂った樹木、時々変わる大使館側の壁の展示を見ながら散歩すると楽しい。

応募者氏名 岡崎 純子 (区内在住)

- この場所は空の雰囲気非常に印象が変わります。ヨーロッパの方のようなどとも落ち着く雰囲気になっています。

応募者氏名 関野 光希 (区内在学)

- 有栖川宮記念公園に接する南部坂

応募者氏名 徳弘 篤介 (区内在住)



港区区民景観セレクション

高浜運河から望む ライトアップされた御橋

テーマ:水辺の景観



選定にあたっての評価コメント

ライトアップされた御橋を横目に高浜運河沿緑地を行き交うジョギングする人、犬の散歩をする人、足早に帰途を急ぐ人…。居住地として人口を増やしつつある港南エリアの夜に橋と水辺の景観が端正に浮かび、水面を染める。

応募者からの推薦コメント

・ライトアップで輝く水面、遠くに田町のビル群や東京タワーを楽しむことができます。思わず足を止めて水面に揺らく光の帯を見たいです。

応募者氏名 久住 恵介 (区内在学)

・殺風景だった夕暮れ時の運河とそこに架かる橋の佇まいが、ライトアップでぱっと賑やかになりました。思わず足を止めて見入ってしまいます。

応募者氏名 岡部 正実 (区内在住)

・夜は水辺を照らす、安心・安全のランドマークに。

応募者氏名 丸山 孝典 (区内在住)

港区区民景観セレクション

日の出橋倉庫群

テーマ:水辺の景観



選定にあたっての評価コメント

連続するノコギリ屋根の倉庫は、東京湾でも最も古いふ頭施設であり、独特の港らしい水辺景観を生み出している。周辺では将来大規模な開発が進むことが想定されるが、場所の記憶を想起させる貴重な景観資源として保存・活用を期待したい。

応募者からの推薦コメント

昔ながらの倉庫群で「のこぎり屋根」が印象的である。ゆりかもめ、レインボーブリッジと港の風景は変わっても、港をじっと見ている「のこぎり屋根」の倉庫風景は何事もなく生き続けて欲しい。

応募者氏名 石綿 修一 (区内在住)

港区区民景観セレクション 審査会委員総評

港区景観審議会会長
東京工業大学大学院 社会理工学研究所 教授

齋藤 潮

港区は地形の変化に富んでいる。だが、「地形を感じる景観」などという曖昧なテーマに反応があるだろうか。前回は東京タワーだけだけに不安がよぎったが、それは杞憂に終わった。応募景観には江戸以来の坂が名を連ねた。いっぽう、坂の少ない地域では水辺の景観などが掘り起こされた。さて、審査の場から一言。この企画は景観セレクションだから、どこから何がどう見えるかが重要。公園、庭園でその点が不明な応募は選外とし、次回に期待することとなった。

港区景観審議会区民委員

竹崎 典夫

4年目のメインテーマは「地形を感じる景観」。港区は埋立地を除くと起伏の多い地形で、100を超える応募状況でした。区民目線は人それぞれ。実査して見て40年近く住んでいて気付かなかった素晴らしい景観と出会う事が出来ました。定番の広大な公園景観、自然の山並みを生かした景観、起伏を活かした人々が集まる広場、新しい開発によって形成された素敵な並木の散歩道等。この様に新旧取り交ぜた景観が区民の誇りなのでしょう。是非皆様も現地へ赴き、素晴らしい景観を感じる体験をお勧めします。

港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰

藤野 珠枝

わがまち大好き区民が教えてくれる景観のひとつひとつをいとおしく眺めました。昨年からはまった運河に掛かる御橋のライトアップ、現在はコロナ禍の中懸命に働く医療従事者への感謝が込められたブルー。この橋を歩く方々は気づかなくとも、数百メートル離れた隣の隣の橋からその輝きに惹かれ、運河沿緑地を歩いて近寄ってみたいくなる景観を生み出しました。周辺の高層建物からもよく見えることでしょう。景観は人とともにあると感じています。

港区景観審議会副会長
工学院大学名誉教授

倉田 直道

応募景観を観ていると、港区には、多種多様な地形に係わる景観が賦存することを改めて実感する。その多くは、地域や場所の記憶に係わるものが多く、区民の地域プライドを育む存在でもある。ただこれらの景観の存在を区民が認識しているかは別で、港区は開発などにより急激に変化している地域でもあり、区民が気づかないうちにこうした景観を失う可能性も高い。区民景観セレクションが多くの区民の気づきの機会になればと思う。

港区景観アドバイザー
植栽デザイナー

蓮池 ゆう子

今回のメインテーマ部門は「地形を感じる景観」です。港区は起伏のある地形が多く、坂の名所も沢山あり、23区内最高峰の天然の山もあります。急な坂や階段を下から見てぎょっとしたり、坂上から見る景色に目をみはったり。同じ名前の場所に数点の応募もありましたが、地名などが同じでも見る人が変われば視点場も変わり、やはり見る人によってお気に入りの場所が違うんだと皆様のこだわりを感じると共に、様々な視点場に気づかされました。